

愛媛大学プロムナード・コンサート2005

バッハ音律で聴く バッハの《プレリュードとフーガ》 講演とミニ・コンサート

— 300年の沈黙から見出されたJ.S.バッハの調律法! —

今、レーマン(Bradley Lehman)氏による新発見が大きな話題となっています。その歴史的・文化的背景にも及ぶ講演と共に、バッハ自身が記したその調律法に従ったチェンバロを使って通称《平均律クラヴィア曲集》からのミニ・コンサートを開催いたします。この音世界の豊かさを、是非あなたの耳で実体験してください。



2005年10月18日(火) 午後6時30分開演
愛媛大学総合情報メディアセンターホール

入場無料

講演 岸 啓子 愛媛大学教育学部教授・西洋音楽史
宮武 誠一 ^{そまひと}「杣人」バロック室内アンサンブル・メンバー
演奏 松本 美紀



6才よりピアノを田中利夫氏に師事。愛媛大学教育学部特別教科(音楽)教員養成課程を卒業(ピアノ専攻)。チェンバロを小林道夫氏、副嶋恭子氏に師事。1990年「コンサート・ヨーロッパ17~18世紀」シリーズの第3回「フランス・ドイツの宮廷室内楽」にて神戸榎樹美氏らと共に共演する等、数々のコンサートに出演。現在、音楽(ピアノ)講師として、また「杣人」バロック室内アンサンブルのチェンバロ奏者として活躍している。

主催 愛媛大学地域創成研究センター ☎ 089-927-8653
後援 愛媛新聞社

伊予鉄道市内電車 1, 2番 (いずれも環状線)「鉄砲町」下車, 徒歩3分
伊予鉄バス 都心循環東西線(東循環・西循環)「愛媛大学前」下車, 徒歩5分
お車は東側正門から入り、守衛室の指示に従ってください。駐車スペースには限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。バイク・自転車は構内所定の駐輪場に置き、学外の歩道上等には放置しないようお願いいたします。

